

『新徴組の真実にせまる』正誤表

頁・行	誤	正
2・2	講話交渉	講和交渉
5・4	総司の兄沖田林太郎	総司の義兄沖田林太郎
16・7	異存のあるはずはなからう	異存のあるはずはなからう
22・10	攘夷の決行を促した窪田	攘夷の決行を促した。窪田
33・1	つかまつりたく心がけまかり	つかまつりたき心がけにまかり
34・11	計らず今度	計らずも今度
75・9	多摩郡	多摩（幡羅）郡
87・5	伊藤滝三郎	伊藤（東）滝三郎
96・6	先代弁蔵長男	先代弁蔵〔弁吉〕長男
100・14	出張 ○○ 中山	出張 ○〔ママ〕○ 中山
102・6	奥秋助右衛門	奥秋助〔司〕右衛門
104・3	萩原常吉	萩〔萩〕原常吉
104・8	鈴木栄三郎	鈴木栄三郎〔栄之助〕
105・3	◎ 羽賀	◎〔ママ〕 羽賀
105・4	◎ 山田	◎〔ママ〕 山田
105・15	◎ 敬助	◎〔ママ〕 敬助
107・3	島田利三郎	島田利三〔太〕郎
107・5	中沢新蔵	中沢新〔龍〕蔵
109・1	◎ 伊東民三郎	◎〔ママ〕 伊東民三郎
193・2～ 3	はっきりとして（あるいは「星が光り」）	ビュービューと
211・4	武防備	無防備
224・11	早稲田大学教育学院	早稲田大学教育総合科学学院
索引	誤	正
4・右19	伊藤滝三郎（伊東、滝太郎）	伊東滝三郎（伊藤、滝太郎）
4・左24	沖田総司（惣司）5,82-83,97,195	沖田総司（惣司）5,72,82-83,97,195
4・左26	沖田林太郎（総司実兄）	沖田林太郎（総司義兄）
10・右14	【※追加】	辻正一郎 113
11・右15	中沢龍蔵（龍三）→組士一覧	中沢龍蔵（龍三）107 →組士一覧
13・右16	菱屋梅（京市場堀川商人妻）	菱屋梅（京四条堀川商人妻）
組士一覧	誤	正
40・3	杉山音次郎	杉山音五郎

53・17	早川文太郎	庄内入 ○を削除する
-------	-------	------------

お詫び申し上げますとともにご訂正をお願い申し上げます。(文学通信)

『新徴組の真実にせまる』浪士組・新徴組士一覧 (p64 相当) 増補・訂正

「新徴組田川温泉場寄宿帳」(本書第3章第2節収録)は、臨戦態勢下にあった慶応4年(1868)「当時の組士およびその長男・次男・養子などを収録するが、この時点で長男などを正規組士として扱うことは適切でない。一覧に未収録の組士長男などは、以下の通りである。慶応年間の新規組士に比定される者は(?)で示した。

相原竹雄(八郎右衛門長男)、荒井壮蔵(音治、縫右衛門長男)、飯塚謙一郎(謙輔長男)、石原元三郎(槌太郎長男)、伊東民三郎(滝三郎養子)、岩間小次郎(清四郎長男)、大内魁一郎(志津馬養子)、大熊敬助(領兵衛長男)、大島久吉(学長男)、尾崎恭蔵(新規組士?)、片平太郎(八郎長男)、片山誠之進(喜間多養子)、金子桂治郎(蔵治郎長男)、喜瀬十松(英士、虎蔵養子)、小林熊之助(新規組士?)、小松六郎(慶助長男)、佐々木茂(如水次男)、柴田雄蔵(小文治次男)、清水恵造(新規組士?)、清水三郎(恵造養子)、住谷三郎(正之助、新規組士?)、高田錦一郎(徳三郎長男)、辻真太郎(のち新規組士)、内藤銀之助(七之助養子)、中島銀次郎(四郎左衛門養子、小堀大太郎実弟)、中村喜内(新規組士?)、根津文蔵(部屋住新規召抱)、馬場啓次郎(哲之助長男)、藤井幸三郎(健助長男)、藤井小十郎(新規組士?)、水野金三郎(倭一郎長男)、満岡三郎(元司養子)、光沢小源太(新規組士?)、三村将之助(のち将太郎、伊賀右衛門長男)、森村玉記(藤之助実弟)、安田円次郎(平兵衛長男)、矢継亀三郎(謹助養子)、山田精策(新規組士?)、山田文太郎(官司長男)、横森武太夫(新規組士?)、分部彦五郎(宗右衛門養子)。

その他

元治元年(1964)3月頃、天狗党の筑波挙兵に伴って新徴組を脱走して合流した元組士。

天野準治…………江戸浪人・元松平鷹吉家来

佐藤継助…………盛岡浪人

田島幾弥…………上州浪人・元加藤虎之助家来

山田一郎…………白川浪人

渡辺欽吾…………水戸浪人

山本英二氏(信州大学教授)のご教示

久保坂岩太…………甲斐国山梨郡出身、浪人ではなく、窪八幡神社の社人

辻 隆介 ……………武田浪人の家筋

依田熊太 ……………百姓、武田浪人の家筋